

# 川崎医科大学附属病院における 「医師の働き方改革」の取り組み

病院長 永井 敦

2026年2月13日



# 目次

- 病院紹介
- 医師の働き方改革に関する取り組み
- ペイシェントハラスメント対策
- 女性医師の就業継続・復職支援・負担軽減

# 目次

- **病院紹介**
- 医師の働き方改革に関する取り組み
- ペイシェントハラスメント対策
- 女性医師の就業継続・復職支援・負担軽減



## 病院の沿革

1938年 2月	外科昭和病院 開院
1939年 2月	外科川崎病院 開院（年中無休・昼夜診療を掲げる）
1960年 3月	総合病院川崎病院 開院
1970年 3月	学校法人川崎学園 設立認可
1970年 4月	川崎医科大学 開学
1973年12月	川崎医科大学附属病院 開院
1979年10月	救命救急センター 開設
1994年 3月	高度救命救急センター 認可
1994年 4月	特定機能病院 承認
2001年 4月	ドクターヘリ 運航開始



## 病院の沿革

2008年 2月	地域がん診療連携拠点病院 指定
2012年 3月	岡山県認知症疾患医療センター 指定
2018年 3月	がんゲノム医療連携病院 指定
2018年 6月	岡山県難病医療協力病院 指定
2020年 8月	岡山県新型コロナウイルス感染症重点医療機関 指定
2021年 3月	大動脈緊急症拠点病院
2023年12月	川崎医科大学附属病院 開院50周年
2024年 4月	医師の働き方改革施行
2025年 9月	病床数適正化支援持病に基づき減床

2025～2038年 創業100周年記念事業開始



# 川崎学園 創業100周年記念事業

- ・病院 新本館棟建築  
北館・西館棟改修
- ・大学 新研究棟建築

1938年外科昭和病院開院  
⇒ 2038年プロジェクト完成

【完成予想図】



# 川崎医科大学附属病院 (2025年10月現在)

開院：1973（昭和48）年

許可病床：1,138床（実稼働病床1,013床）

医師（35診療科）：444名（うち初期研修医 44名）

看護職：1,096名

特別医療職：410名【薬剤師、技師、療法士、臨床工学技士、管理栄養士、他】

医療技術職：42名【臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、保育士、他】

事務職：199名

その他：13名【用務員、調理師等】

全職員数：2,204名

# 当院の診療実績 (2024年度)

## 1. 患者数 :

外来患者数 : 1,517.1人/日    入院患者数 : 561.9人/日

## 2. 救急 (1次～3次) :

患者数 11,092人/年 (約30.3人/日)

救急車 4,375台/年 (約11.9台/日)

ドクター・ヘリ : 平均1.1回/日 (410回/年)



## 3. 手術数 : 9,142人/年 (うち全麻例 4,707人/年)

## 4. がん治療

①手術件数 854件/年、②化学療法件数 6,992件/年



# 川崎医科大学附属病院 理念

1. 医療は患者のためにある
2. すべての患者に対する深い人間愛を持つ
3. 24時間いつでも診療を行う
4. 先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
5. 地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う



# 附属病院広報 創刊号 (1974(昭和49)年10月1日)

(1)

## 川崎医科大学 附属病院広報 昭和49年10月1日 事務部管理課 創刊号

### 目次

発刊にあたり	1
病院医療許可・認可・指定事項	1
診療契約委託事項	1
病院総則	2
病院内規(基準)	2
病院職員の推移	2
人事・新任(49.4~49.8)	3
退職(49.4~49.8)	4
病院会議一覧表	5
院長補佐会主要議題(49.1~49.8)	5
診療部長会主要議題(48.12~49.8)	7
病歴委員会主要議題(48.12~49.8)	8
中央手術場委員会主要議題(49.1~49.8)	8
栄養給食委員会主要議題(49.3~49.8)	9
看護婦確保対策委員会主要議題(49.6~49.8)	9
薬事委員会主要議題(49.6~49.8)	9
保険委員会主要議題(49.6~49.8)	9
病院来訪者芳名簿	10
時の人	10
編集後記	10

### 発刊にあたり

病院長 川崎 祐宣

近代医学の粋と、温かい愛情と、快適な設備を完備して、患者の皆さんの信頼に応えたいと念願する、私の病院経営の方針をよく理解して下さい。惜しみない努力を続けて下さった全職員に心から感謝いたします。

申すまでもなく附属病院は大学の教育病院でもあります。あくまでも患者本位の病院でなくてはなりません。その中に医の倫理も、医学の追求もあると信じます。このたび病院の歩みをすべての職員の皆様にご覧いただくため、病院の広報紙として、「附属病院広報」が刊行されることになりました。今後この広報紙が病院の発展と共に、皆さんに親しまれ、待ち望まれるようなものになることを願ってやみません。

### 病院医療許可・認可・指定事項 (48.11~49.8)

48.11.29	病院開設許可	岡山県知事
48.11.29	病院構造設備使用許可 (13室 48床)	岡山県知事
48.12.1	保険医療機関・保険薬局	岡山県知事
48.12.1	他の都道府県の療養取扱機関 の申出受理	岡山県知事
48.12.1	全国土木建築国民健康保険療 養取扱機関	岡山県知事
48.12.21	指定医療機関	岡山県知事
48.12.26	労災保険指定医療機関	岡山労働 基準局長
48.12.27	被爆者一級疾病医療機関	岡山県知事
49.2.12	病院構造設備使用許可 (42室 152床)	岡山県知事
49.4.1	診療報酬点数表(甲)申出受 理	岡山県知事
49.4.3	基準看護(一類)、基準給食、 基準器具(2病棟 200床)	岡山県知事
49.4.13	診療用放射線・照射装置使用 室及び診療用放射線照射器具 使用室	岡山県知事
49.4.30	不在者投票指定病院	岡山縣選挙 管理委員会
49.6.12	放射性同位元素等使用許可証	科学技術庁 長官
49.7.6	病院構造設備使用許可 (R1関係)	岡山県知事
49.7.6	更生医療を担当する医療機関 の指定	厚生大臣

### 診療契約委託事項 (48.12~49.8)

48.12.17	委託ベッド	農協
48.12.17	難病治療の委託 スモン、児童の慢性腎炎、 ネフローゼ、ぜんそく、 小児ガン、パーチェット	岡山県知事

## 発刊にあたり

病院長 川崎 祐宣

近代医学の粋と、温かい愛情と、快適な設備を完備して、**患者の皆さんの信頼に応えたい**と念願する、私の病院経営の方針をよく理解して下さい。惜しみない努力を続けて下さった全職員に心から感謝いたします。

申すまでもなく附属病院は大学の教育病院でもあります。あくまでも**患者本位の病院**でなくてはなりません。その中に医の倫理も、医学の追求もあると信じます。このたび病院の歩みをすべての職員の皆様にご覧いただくため、病院の広報紙として、「附属病院広報」が刊行されることになりました。今後この広報紙が病院の発展と共に、皆さんに親しまれ、待ち望まれるようなものになることを願ってやみません。

# 目次

- 病院紹介（創業100周年事業）
- **医師の働き方改革に関する取り組み**
- ペイシェントハラスメント対策
- 女性医師の就業継続・復職支援・負担軽減

# 時間外労働の上限水準

一般労働者では  
労働基準法第36条第4項の限度時間

月45時間・年360時間



# 診療従事勤務医の時間外労働の上限水準

## 1か月あたりの延長時間の上限



**単月100時間未満（例外あり）、年間360時間以内**

（過労死ライン水準）

（通常の上限規制）

「臨時的な必要がある場合」の1年あたりの延長時間の

上限については、脳・心臓疾患の労災認定基準における時間外労働の水準（複数月平均80時間以下、休日労働込み）を考慮し

**複数月平均80時間以下**

**12か月分として年960時間を目安**





# 診療従事勤務医の時間外労働の上限水準

## 1か月あたりの延長時間の上限



**単月100時間未満（例外あり）、年間360時間以内**

（過労死ライン水準）

（通常の上限規制）

「臨時的な必要がある場合」の1年あたりの延長時間の

上限については、脳・心臓疾患の労災認定基準における時間外労働の水準（複数月平均80時間以下、休日労働込み）を考慮し

**複数月平均80時間以下**

**12か月分として年960時間を目安**

**A水準**



# 働き方改革への歩み

◆2018年6月「働き方改革関連法」成立

◆2019年4月から順次施行

●**2017年4月**：

- ・学校法人川崎学園として「働き方改革推進室」設置
- ・働き方改革・WLB実現・勤務効率化
- ・時間外労働実態把握と削減を達成

◆2021年5月「医師の働き方改革」に関する制度の公布

◆2024年4月「医師の働き方改革」施行

●**2022年6月**：附属病院庶務課に「病院働き方改革推進室」設置

- ・医師・病院スタッフの働き方を改革
- ・病院経営改革を進める

## 「医師の働き方改革室」の主な取組

- 出退勤打刻率調査及び改善（2022年6月～）
- 日当直/オンコール実態調査（2022年11月～2023年1月）
- タスクシフト/シェア実態調査及び改善（2023年4月～6月）
- 外来診察室活用実態調査及び改善（2023年4月～）
- 時間外診療体制の変更（2024年2月～）
- 午後の外来受付時間の短縮
- 外来新規紹介患者枠の設置
- 患者診療支援センター内に「かかりつけ医」相談窓口設置
- 通院患者へのかかりつけ医調査実施
- 外来へのメディカルアシスタントの配置



# 打刻率調査

～労働時間把握～

実施期間：2019年4月から継続調査

対 象：全医師

調査目的：打刻率・院内滞在時間  
休暇届出の把握

結 果：打刻率 開始時：71%

2022年度：91%

2023年度：86%

2024年度：93%

2025年度現在：91%

新規採用医師が多い年度は下がる傾向あり  
複数回の指導・啓発が必要

# オンコール実態調査

対 象：オンコール対応診療科

調査目的：時間外における緊急呼び出し対応状況の把握

調査結果：呼び出しの状況に診療科間で差  
オンコール不要の診療科も存在

対 応：

- ① オンコール体制の見直し
- ② 疾患によっては、オンコール制限を指示

「市中肺炎は呼内オンコールを呼ばない」から着手  
さらにcommon diseaseに拡大

⇒夜勤担当医が朝まで診る！







## 各種実態調査の結果

～労働時間把握～

**2022年6月～2023年1月調査】**

**時間外労働時間が年間960時間超過の可能性  
がある医師は約7%（30/427人）**

**〈日当直も勤務時間として計算〉**

診療従事勤務医の時間外労働の上限水準 A水準（960時間）  
地域医療確保暫定特例水準 B・連携B水準（1,860時間）  
集中的技能向上水準 C水準（1,860時間）

## 川崎医大附属病院 申請

A水準：ほとんどの臨床科

B水準：救急科, 麻酔・集中治療科  
小児科

連携B水準：循環器内科



# 「医師の働き方改革室」の主な取組

- 打刻率調査及び改善（2022年6月～）
- 日当直/オンコール実態調査（2022年11月～2023年1月）
- タスクシフト・シェア実態調査及び改善（2023年4月～6月）
- 外来診察室活用実態調査及び改善（2023年4月～）
- 時間外診療体制の変更（2024年2月～）
- 午後の外来受付時間の短縮
- 外来新規紹介患者枠の設置
- 患者診療支援センター内に「かかりつけ医」相談窓口設置
- 通院患者へのかかりつけ医調査実施
- 外来へのメディカルアシスタントの配置



# 現在の時間外診療体制

区分	対象診療科	備考	全体ミーティング		日誌	
			17:00～17:30	8:30～9:00	受け取り場所	提出場所
救急外来	救急担当医	救急科	○	○	医師待機室	医師待機室
	内科系担当医	各科以外の診療科 (医長・チーフレジデント・シニアレジデント)	○	○		
	外科系担当医	各科以外の診療科 (医長・チーフレジデント・シニアレジデント)	○	○		
	画像診断担当医	放射線診断科			各診療科	院長秘書室
	小児・NICU担当医	小児科				
	脳神経・SCU担当医	脳神経内科・脳神経外科・脳卒中科	22:00～当直		医師待機室	医師待機室
	循環器担当医	循環器内科	22:00～当直	○		
	整形担当医	整形外科	22:00～当直	○		
	消化器担当医	消化器内科・消化器外科	22:00終了	○		
	産婦人科担当医	産婦人科	22:00～当直(平日) 17:00～当直(土・日・祝)	○		
病棟	一般病棟担当医	各科以外の診療科(副部・医長・チーフレジデント)			本館9階当直室	院長秘書室
	救急病棟担当医	各科以外の診療科(シニアレジデント)	○	○	医師待機室	医師待機室
	救急ICU担当医	救急科			各診療科	院長秘書室
	ICU担当医	麻酔・集中治療科				
	ICU担当医(緊急手術)	麻酔・集中治療科				
研修担当医		研修医	3名	○	医師待機室	医師待機室

完全夜勤  
体制

# 現在の労働時間の考え方

1週間39.5時間の勤務時間を基本とし、  
各医師は翌月勤務予定表を前月20日までに策定し、  
所属長及び勤務計画管理者の承認を得ることで、  
以下のような**フレキシブルな勤務も可能**とした

例：1か月の所定労働時間が160時間の場合

1週目・・・45時間

2週目・・・30時間

3週目・・・55時間

4週目・・・30時間

合計 160時間



# Dr.JOYを用いた勤務管理

## Dr.JOYで月間予定表の作成（前月20日まで）

Dr.JOY

【6月】13点のアップデート情報はこちら！

★

📺

📍

STORE

≡

整形外科

勤務日	法定休日	所定休日	明け	勤務しない日
23日	4日	2日	0日	2日
設定中の所定時間	月間の必要な所定時間			
173:00	173:00			

緯日：月末 / 変形労働制

今月

月選択

◀ 2025年7月度 ▶

週パターン設定

編集履歴

Excel

日付	状況	プリセット	区分	予定時間	休憩時間	休憩時間計	所定時間 (休憩時間除く)
6/29 日		なし	法定休日			0:00	
6/30 月		なし	勤務日	通常勤務 07:10 ~ 17:00	12:30 ~ 13:30	1:00	8:50
7/1 火		なし	勤務日	通常勤務 07:10 ~ 17:00	12:30 ~ 13:30	1:00	8:50
7/2 水		なし	勤務日	通常勤務 07:30 ~ 17:00	12:30 ~ 13:30	1:00	8:30
7/3 木		なし	勤務日	通常勤務 07:10 ~ 16:30	12:30 ~ 13:30	1:00	8:20
7/4 金		なし	勤務日	通常勤務 07:10 ~ 16:40	12:30 ~ 13:30	1:00	8:30
7/5 土							

適用する

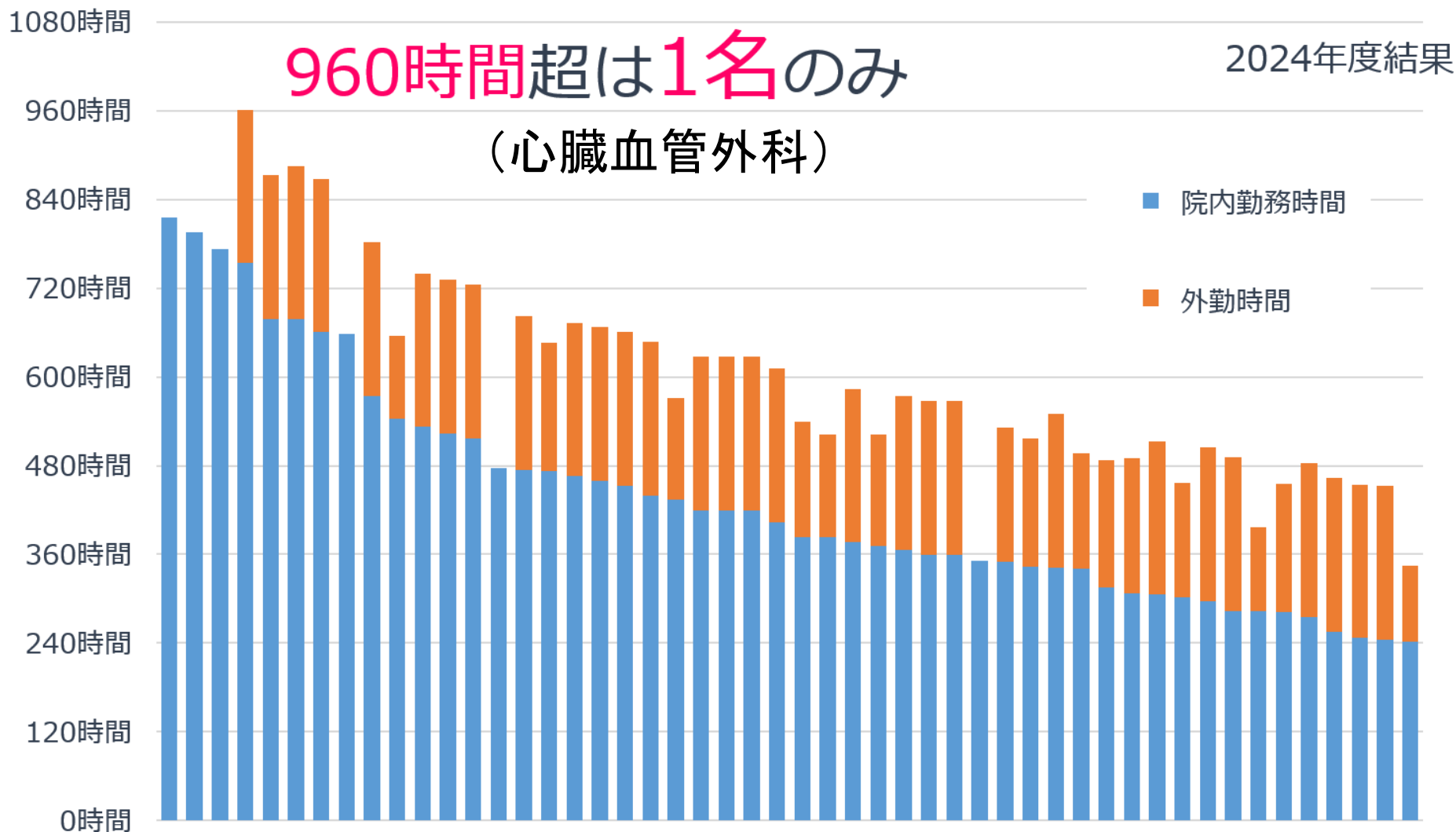
6/30 月	なし	勤務日	通常勤務 07:10 ~ 17:00
7/1 火	なし	勤務日	通常勤務 07:10 ~ 17:00
7/2 水	なし	勤務日	通常勤務 07:30 ~ 17:00
7/3 木	なし	勤務日	通常勤務 07:10 ~ 16:30
7/4 金	なし	勤務日	通常勤務 07:10 ~ 16:40
7/5 土	なし	所定休日	

# Dr.JOYを導入しているが打刻は必要



予定を作成したうえで、  
**必ず出勤時・退勤時に打刻**  
することを指導

# 2024年度調査 超過勤務時間年間 上位50名



# 労働時間及び自己研鑽に関する考え方

1. 所属長及び勤務計画管理者は、休祭日・夜間勤務等を含めて所属医師の勤務時間が週39.5時間及び月間所定労働時間内に納まるよう努めること
2. 日常的な診療・教育・出席を義務付けられている**カンファレンス等は、所定労働時間内に行う**こと
3. **所定労働時間内に行われた研鑽は、労働時間**とすること
4. 所定労働時間外の緊急患者対応・病棟急変時対応・上司（診療部長及び勤務計画管理者など）からのやむを得ない勤務指示があった場合は、労働時間とし業務終了後、時間外勤務申請書を必ず提出すること
5. 所定労働時間外に研鑽等で学園内に滞在する際は、自身の健康管理（睡眠・食事・休憩など）には十二分に注意すること

# 追加的健康確保措置の徹底 面接指導

医師の勤怠管理マニュアル

2024 年 4 月



1カ月に80時間以上時間外労働の医師を対象に面接指導

## 面接指導実施医師

病院運営委員会に所属する医師（副院長・院長補佐）及び産業医  
**全14名**（面接指導実施医師養成講習会を受講済み）

実績（2024年4月～現在）

心臓血管外科・シニアレジデント5年（32歳）	90時間・103時間
脳卒中科・医長（38歳）	85時間・99時間
脳卒中科・シニアレジデント3年（33歳）	83時間
救急科・シニアレジデント1年（32歳）	94時間



# 職種ごとに推進するタスクシフト

対象となる職種	業務内容
助産師	<ul style="list-style-type: none"><li>・助産師外来</li><li>・院内助産（低リスク妊婦の健診・分娩管理, 妊産婦の保健指導）</li></ul>
看護師	<ul style="list-style-type: none"><li>・特定行為（38行為21区分）の実施</li><li>・予め特定された患者に対し, 事前に取り決めたプロトコールに沿って, 医師が事前に指示した薬剤の投与, 採血・検査の実施</li><li>・救急外来において, 医師が予め患者の範囲を示して, 事前の指示や 事前に取り決めたプロトコールに基づき, 血液検査オーダー入力, 採血・検査の実施</li><li>・画像下治療(IVR)/血管造影検査等各種検査・治療における介助</li><li>・注射, フクチン接種, 静脈採血（静脈路からの採血を含む）, 静脈路確保・抜去及び止血, 末梢留置型中心静脈カテーテルの抜去及び止血, 動脈ラインからの採血、動脈ラインの抜去及び止血</li><li>・尿道カテーテル留置</li></ul>
薬剤師	<ul style="list-style-type: none"><li>・手術室・病棟等における薬剤の払い出し, 手術後残薬回収, 薬剤の調製等, 薬剤の管理に関する業務</li><li>・事前に取り決めたプロトコールに沿って, 処方された薬剤の変更（投与量・投与方法・投与期間・剤形・含有規格等）</li><li>・効果・副作用の発現状況や服薬状況の確認等を踏まえた服薬指導, 処方提案, 処方支援</li></ul>
診療放射線技師	<ul style="list-style-type: none"><li>・血管造影・画像下治療(IVR)における医師の指示の下, 画像を得るためカテーテル及びガイドワイヤー等の位置を医師と協働して調整する操作</li><li>・医師の事前指示に基づく, 撮影部位の確認・追加撮影オーダー（検査で認められた所見について, 客観的な結果を確認し, 医師に報告）</li></ul>
臨床検査技師	<ul style="list-style-type: none"><li>・心臓・血管カテーテル検査・治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作（超音波検査や心電図検査, 血管内の血圧の観察・測定等）</li><li>・病棟・外来における採血業務（血液培養を含む検体採取）</li></ul>
臨床工学技士	<ul style="list-style-type: none"><li>・手術室, 内視鏡室、心臓・血管カテーテル室等での清潔野における器械出し（器械や診療材料等）</li><li>・医師の具体的指示の下, 全身麻酔装置の操作や人工心肺装置を操作して行う血液, 補液及び薬剤の投与量の設定等</li></ul>
医師事務作業補助者	<ul style="list-style-type: none"><li>・医師の具体的指示の下, 診療録等の代行入力</li></ul>

令和2年12月「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」

# タスクシフトの1例：特定行為実践看護師

創処置・抜糸や麻酔の維持など、医師のみが許可されていた行為の一部を行うことが可能（21区分38行為）



手術室掲示のポスター

## 2024年度

栄養・水分管理領域：5名

創傷・瘻孔管理領域：6名

術中麻酔管理領域：2名

感染管理領域：4名

クリティカルケア領域：11名

合計28名の特定行為実践看護師が在籍

## 実績 1,978件

人工呼吸療法285件、動脈ライン確保135件、抜去370件  
循環動態に関わる薬剤投与222件、創傷管理118件  
創部・腹腔ドレーン・瘻孔関連387件  
末梢挿入型中心静脈カテーテル挿入81件など

## 「医師の働き方改革室」の主な取組

- 打刻率調査及び改善（2022年6月～）
- 日当直/オンコール実態調査（2022年11月～2023年1月）
- タスクシフト・シェア実態調査及び改善（2023年4月～6月）
- 外来診察室活用実態調査及び改善（2023年4月～）
- 時間外診療体制の変更（2024年2月～）
- 午後の外来受付時間の短縮
- 外来新規紹介患者枠の設置
- 患者診療支援センター内に「かかりつけ医」相談窓口設置
- 通院患者へのかかりつけ医調査実施
- 外来へのメディカルアシスタントの配置



# 地域のかかりつけ医と連携した医療

## ・かかりつけ医との連携・逆紹介の促進

### ①患者理解の促進

- ・ポスター&リーフレットの作成
- ・地域医療連携室内にかかりつけ医を一緒に探す**患者相談窓口**を設置

### ②地域医療との二人三脚

- ・かかりつけ医（紹介元医療機関含む）との役割分担、適切な逆紹介



**かかりつけ医を推奨しています**  
～住み慣れた地域でいつまでも心穏やかな暮らしを続けるために～

**かかりつけ医とは** | 日々の健康管理や健康に関することをなんでも相談できる、身近で頼りになる医師のことです。

**病気の早期発見**  
かかりつけ医は、患者さんを身近で見守っているため、普段の様子と比較して体の異変に気づき、病気の早期発見につながります。

**病気の管理**  
患者さんにとって身近なかかりつけ医なら、家族の健康も相談しやすく、一か所で同じかかりつけ医にかかれば、より不調を防げます。

**大学病院とかかりつけ医**  
①調子が悪化すると  
②かかりつけ医が大学病院へ  
③大学病院がかかりつけ医へ  
④かかりつけ医が患者さんへ  
⑤かかりつけ医が調子を把握する

**連携**  
かかりつけ医は、必要に応じて適切な医療機関を紹介してくれます。

**情報提供**  
調子の安定した後は、かかりつけ医が調子と連携をとりながら経過観察します。

**かかりつけ医との連携**  
医療機関には役割分担があります。医療機関を上手に使い分けることで、適切な診断・治療を受けることができます。

**患者診療支援センター**  
地域医療連携室

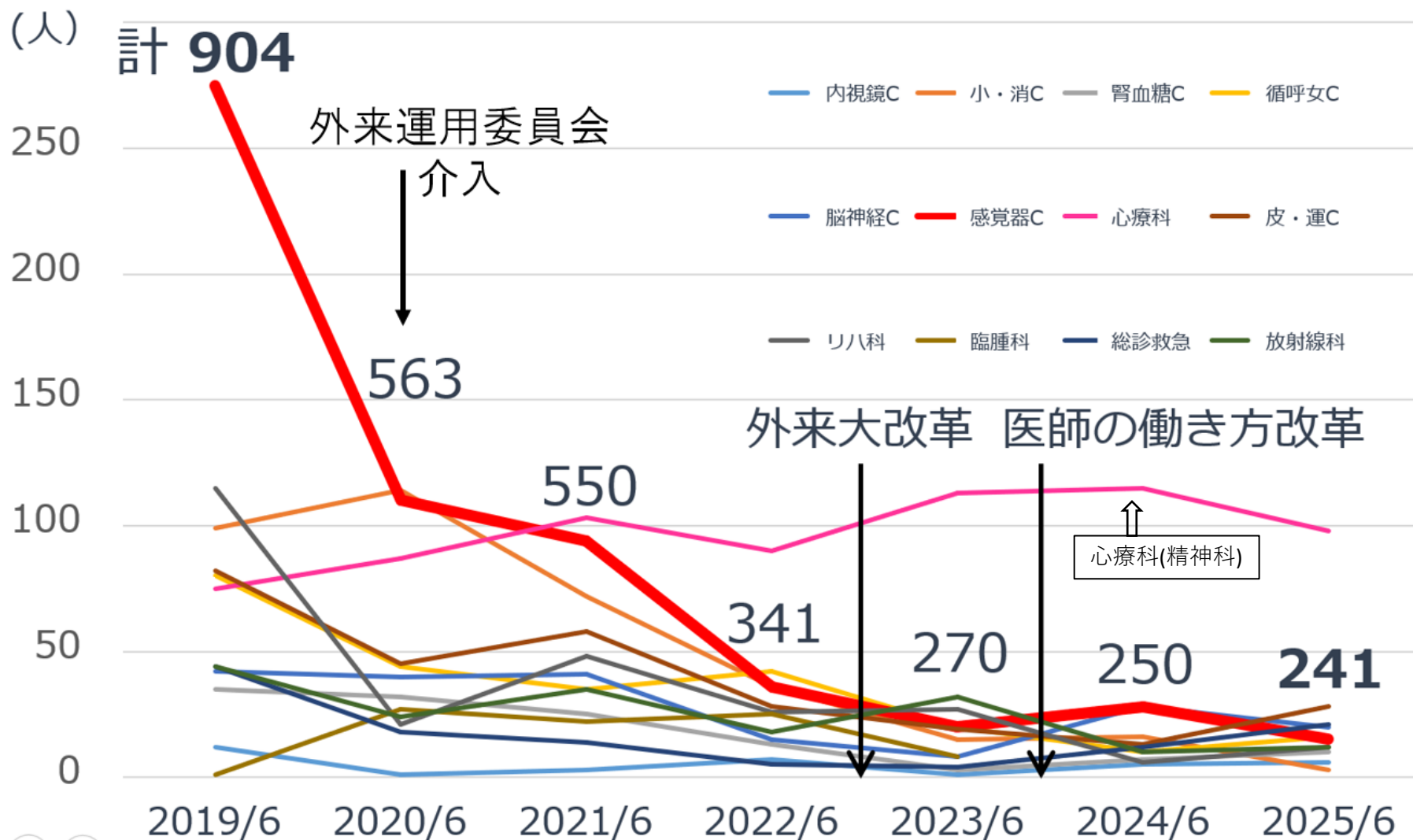
**かかりつけ医の相談**  
患者診療支援センター・地域医療連携室（正室玄関入って左手）にお任せください。

**外来受診は予約制**  
各診療科を初めて受診される場合は診療をスムーズに行うために、**かかりつけ医からの予約**をお願いしております。  
かかりつけ医からは簡単にオンライン予約ができます。  
予約がない場合は事前にご相談ください。

ご不明な点は患者診療支援センター 地域医療連携室にお尋ねください。

川崎医科大学附属病院

# 外来改革:17時時点での患者残数



# 医師の働き方改革に関する周知事項 2023年10月4日発出

## 周知事項の一例

～労働時間短縮取り組み&周知～

【基本対応】 17時に業務を終了（会議・カンファも同様）

【外来対応】 ◇外来患者の対応は16時までに終了

◇逆紹介推進

【病棟対応】 ◇患者・家族への説明は平日の勤務時間内  
に行い17時までに終了

◇処方・検査オーダーを16時までに行う

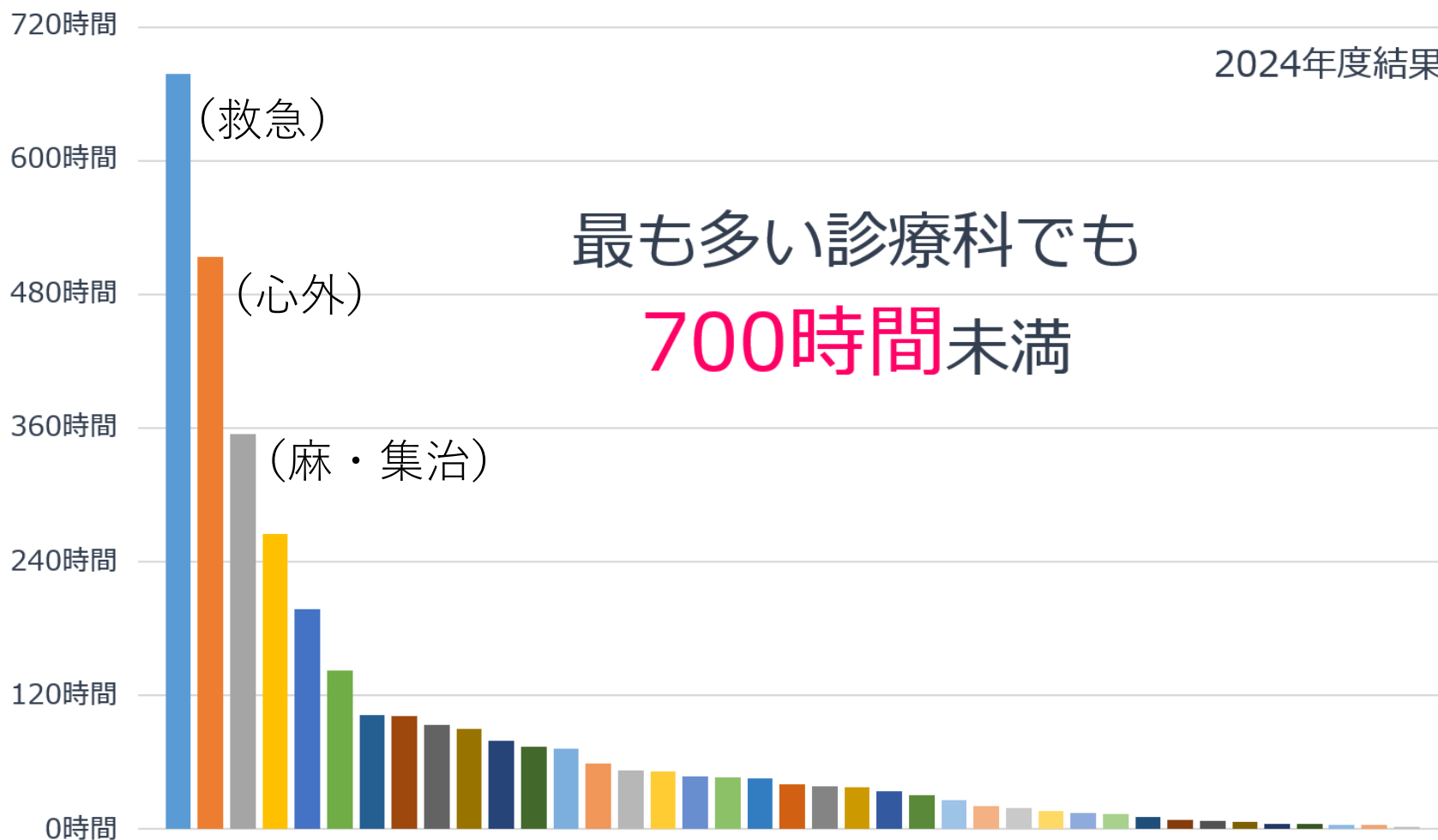
【時間外対応】

◇時間外の医師・薬剤師等への連絡は  
必要最小限にとどめる

◇時間外の病棟患者に関する緊急連絡は  
主治医・救急担当医ではなく、原則、  
病棟当直医に行う



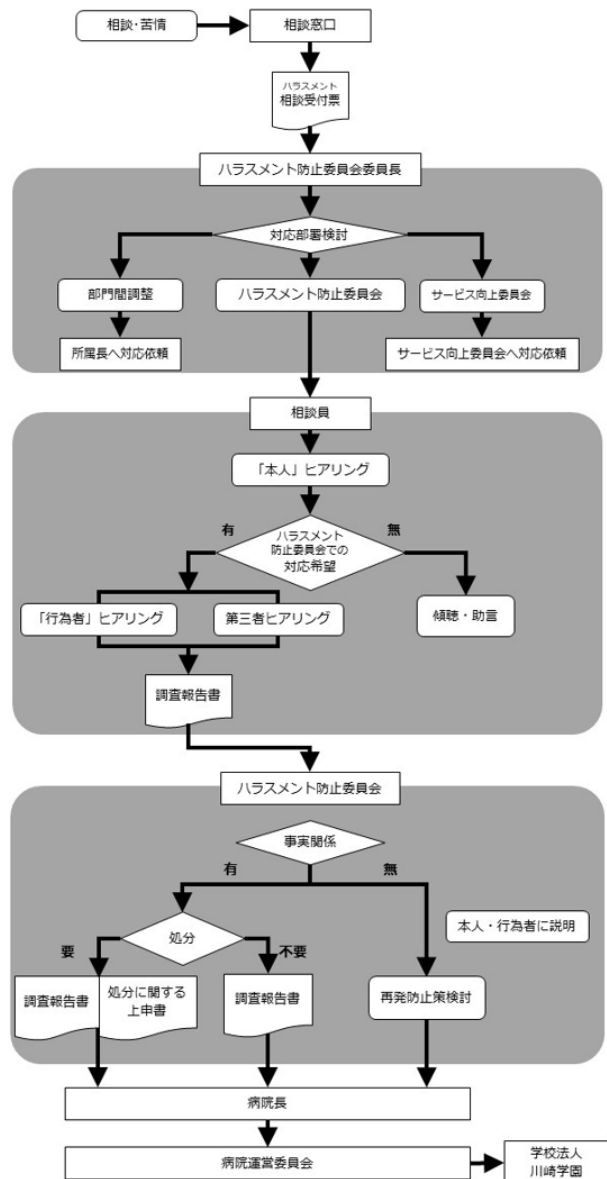
## 診療科・外来センター別の平均超過勤務時間（年間合計）



# 目次

- 病院紹介（創業100周年事業）
- 医師の働き方改革に関する取り組み
- **ペイシェントハラスメント対策**
- **女性医師の就業継続・復職支援・負担軽減**





# 川崎医科大学附属病院 ハラスメント相談 フローチャート

平成23年4月1日制定  
平成31年2月1日改訂

# 川崎医科大学附属病院 ハラスメント 防止委員会メンバー

<https://kwweb.kawasaki-m.ac.jp/harassment/>



## ハラスメント 撲滅大作戦

考えよう  
相手の気持ち

高めよう  
信頼関係



何気ない  
一言が傷つける



さりげない  
一言で癒される



# 2025年9月作成ポスター

## (川崎医療福祉大学医療福祉デザイン学科)

資料1  
外来エリアに掲示

過剰・不当な要求  
長時間の拘束

大声・暴言  
脅迫的な言動

これらの言動・行為は  
**パシエント  
ハラズメント**  
に該当する可能性  
があります。

性的な言動  
つきまとい

院内におけるすべての暴力・暴言・嫌がらせ・セクハラ・業務妨害などの迷惑行為があった場合、当院は診療契約に伴う信頼関係が喪失したものと判断し、診療をお断りする場合があります。

川崎医科大学附属病院

デザイン：川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科

資料2  
病棟エリアに掲示

このような言動・行為は  
**パシエントハラズメント**に  
該当する可能性があります。

大声・暴言  
脅迫的な言動

過剰・不当な要求  
長時間の拘束

性的な言動  
つきまとい

院内におけるすべての暴力・暴言・嫌がらせ・セクハラ・業務妨害などの迷惑行為があった場合、当院は診療契約に伴う信頼関係が喪失したものと判断し、診療をお断りする場合があります。

川崎医科大学附属病院

デザイン：川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科

# ペイシェントハラスメント対策

対応職員：医事課参与**2**名（医療事故・訴訟、患者、家族トラブル対応）  
防災センター職員**24**名（元警察官・自衛官）

①**2005年～2026年1月1日時点でのMP(モンスターペイシェント)**  
登録件数：**912**件

②男女数：男**599**名 女**262**名 死亡**51**名

③平均年齢：約**60**歳（現時点年齢）

④弁護士による診療拒否通達件数：**196**件



# 働きやすい職場環境の整備

ペイシェントハラスメント対策

**女性医師の就業継続・復職支援・負担軽減**

# ◆当院の女性医師復職支援・子育て支援・負担軽減等のための活動

(委員長：青山裕美皮膚科部長)

## 1. これまでの主な活動 (2022年度「女性医師復職支援推進小委員会(現・DEI推進小委員会)」発足後～現在まで)

2022年度	3月	「女性医師復職支援小委員会」発足
2023年度	6月	医師対象「お子様をどこに預けていますかアンケート」実施
	8月	「第1回 女性医師復職支援情報交換会」開催。外部から現役医師を招き、講演と情報交換
		附属病院ホームページ上に「女性医師復職支援」ページ開設
	2月	「川崎医科大学附属病院女性医師支援懇談会」開催。子育て世代の医師の働き方について意見交換
2024年度	3月	医師の退職者を対象とした「2023年度末退職理由について」のアンケート実施
	5月	「第2回 女性医師復職支援懇談会」開催。「病児保育について」をメインテーマとして情報交換
	9月	「子育て世代の医師支援講演会」開催。講師は徳倉康之氏（ファミリーエ代表取締役）※岡山県医師会助成事業
	12月	子育て中の医師支援のための「多目的室(仮)」開設に向けてワーキングを開始
2025年度	6月	委員会名称を「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DEI）推進小委員会」に変更。 * 活動内容も、性別等に関わらず医師全員の支援を目指したものに変更
	7月	子育て中の医師支援施設として、本館6階「共同ワークスペース(子ども同伴)」を新設・運用開始 * 同じ空間内に、電子カルテ端末を設置した「仕事エリア」と、絵本やおもちゃを備えた「子どもエリア」を設置
	8月	病児保育室の運用を変更。保育時間と定員枠の拡大により、利便性が向上。
		HPの「女性医師復職支援」を「医師支援」ページに変更し、内容もわかりやすく見やすいものにリニューアル。
	9月	医師対象『必見！ カワサキ的子育て等お役立ち情報』（動画集）をHP上に掲載 * 「育児・介護制度」、「人事制度」、「病児保育」、「共同ワークスペース」の4コンテンツを掲載
	12月	医師対象「当院におけるDEIについて」アンケート実施

## 2. 主な取り組み *Line Up*

〈1〉子育て中の医師の「困った！」の声から生まれた

「共同ワークスペース(子ども同伴)」の新設

〈2〉従来ある施設をもっと使いやすく！

病児保育室を使いやすく改善し、利便性が格段に向上

〈3〉学生・若手医師が明るい未来を描けるように！

医学生、研修医向け企画 「メディカルカフェ」開催 (川崎医科大学主催)



これらは後で詳しく解説します



## 2. 主な取り組み *Line Up*

まだまだあります！

### 〈4〉 当院の便利な情報をギュッとまとめました！

医師対象動画集『**必見！カワサキ的子育て等お役立ち情報**』

を取りまとめ、ホームページ(職員限定)に掲載・公開

👉 知っているようで知らない、珠玉の4コンテンツで構成

「育児・介護制度(各種休暇や柔軟な勤務体制などの人事制度)」 「院内保育所」  
「病児保育室」 「共同ワークスペース(子ども同伴)」

### 〈5〉 現場の“生”の声を聞いています！

各診療科からの「**ゲスト陪席者**」をDEI委員会に毎回招請

👉 日常生活と仕事の中で、困っていることや要望などをざくばらんに語ってもらっています

👉 ここから「共同ワークスペース(子ども同伴)」が実現しました！

# 〈1〉「共同ワークスペース(子ども同伴)」を教員居室エリアに新設

【背景】 台風や学級閉鎖など、突発的なことが発生し、  
職場に子どもを連れて来るしかない時、行き場がなく困っている

- 電子カルテ端末を設置した  
「仕事エリア」と、  
絵本やおもちゃを備えた  
「子どもエリア」を設置
- 一度におよそ2家族が利用可能  
(大人2人、子ども2～3人程度)

## (オープン後の状況)

- ・利用者からは大変好評 (※月2～3件程度利用)
- ・全体的にはまだ浸透していないが、  
必要な時に利用してもらえるよう今後も周知に力を入れる



## 〈2〉病児保育室を使いやすく改善し、利便性向上

【背景】 従来の病児保育室は、定員枠の少なさや、保育時間や曜日に制限があり、預けたくても預けにくい状況があった

- 保育士の人数増や、ｺﾏ等感染疑いの場合の迅速検査キット導入等、様々な工夫を重ね、定員枠を拡大
- 保育時間を見直し、預けやすく改善



(病児保育室)

### (変更後の状況)

- ・実際の利用者や、これまで利用したくてもできなかった医師から「大変助かる。ぜひ利用したい」との声が多数。
- ・受付方法や持参物品の見直しを行い、さらに改善していく予定

## 「病児保育室」 について重要なお知らせ

### ◆ 保育時間と定員数を拡大しました

#### 〈利用案内〉

- ㊟ 保育時間：月～金曜 8:10～17:20
  - ㊟ 定員数：6名程度  
(預り児童の状況によって、預かり人数が若干変更する場合があります)
  - ㊟ 対象者：川崎学園に所属する職員(非常勤医師を含む)及び川崎医大における大学院生の子ともで、病児・病後児
- ※予約が重なった場合は、医師及び看護師の子ともを優先させていただきます



#### ←病児保育室 予約状況確認専用 (X)

- ・予約状況の確認のみ
- ・予約する場合は、病児保育室まで直接お電話ください



### ◆ コロナウイルス・インフルエンザ同時検査キットの導入

- ㊟ 病児保育室を利用する子どもに対して検査を行います
- 検査後、**陰性かつ小児科医の診断により病児保育室が利用可能**となります
- ・発熱がある子どもは、原則として抗原検査の対象となります(目安:38℃以上の児)
  - ・抗原検査を行った場合は、検査結果が出るまで10分程度かかります
  - ・抗原検査で陽性反応が出た場合は、病児保育室は利用できません
  - ・病児保育室利用の可否は、上記に関わらず小児科医の診断によります

(医師向けの周知用ポスター)

参考：川崎医科大学女子学生比率 45.1%（全学年）  
53.2%（2025年度1学年）

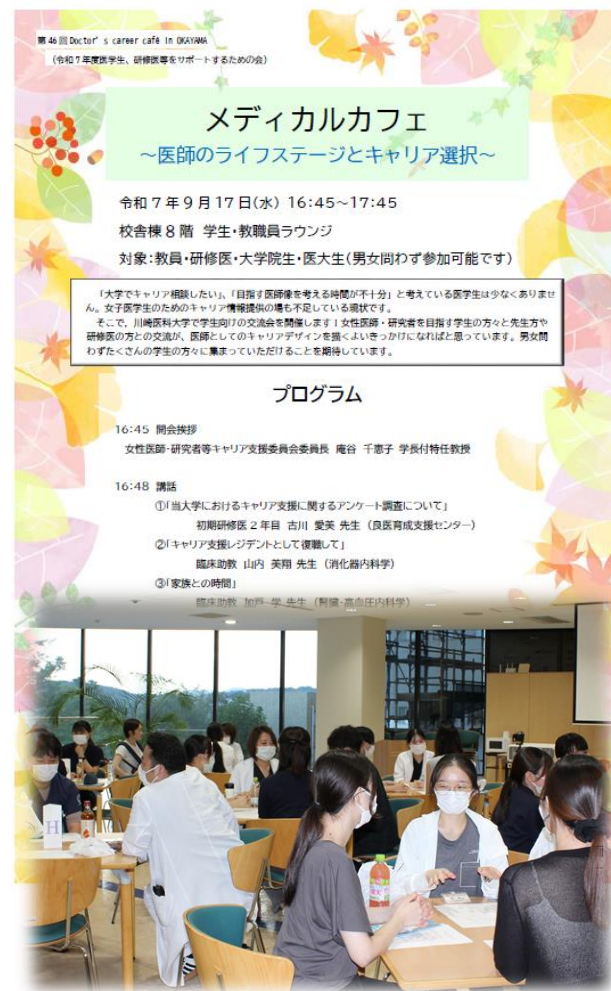
### 〈3〉医学生、研修医向け企画「メディカルカフェ」開催（川崎医科大学主催）

【背景】 女子医学生がキャリアデザインを描くための情報提供の場が不足していて、「目指す医師像」が見えにくいという現状がある  
（女子学生の割合が高い川崎医科大学としては、重要な課題の一つと言える）

- 医学生や研修医・若手医師向けに、ロールモデルを紹介
- 様々な立場の先輩医師等が、実生活を交えて講演した後、交流会を実施し、将来への漠然とした不安を解消

#### （参加者の声）

「経験談を聴き、女性医師と直接話しができる貴重な場だった」  
「知らない制度や現状を知る機会となった」「将来について考える場となった」  
「男女共に働きやすい環境づくりが重要」といった感想があった



（交流会の様子）

# 川崎医科大学附属病院 理念

1. 医療は患者のためにある
2. すべての患者に対する深い人間愛を持つ
3. 24時間いつでも診療を行う
4. 先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
5. 地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う



# お断りのない医療の実現

～目指す医療～

## 総合診療センターの設置（2025年4月～）

- 総合診療科

病名がはっきりしない紹介科不明の患者を対象  
(予約外来)

- ファーストコンタクトセンター

予約なし・紹介状なし患者を対象

⇒該当専門科・救急科との連携を強化





# 川崎医科大学附属病院における 「医師の働き方改革」の取り組み

ご清聴ありがとうございます

